

赤岳主稜

日時 天気 令和3年2月12日(金) 高曇り 後 晴れ

メンバー Y.Y R.K

久しぶりに行者小屋横にテントを設営し、12日赤岳主稜を登攀した。

5時50分ヘッドランプで出発、我々が先頭であり文三郎道との分岐へ。ここで用意を済ませ、トラバースに入る。前夜風が吹いていたのでトレースはほぼ消滅しており、中途半端な硬さの雪の斜面を慎重にトラバースして2ピッチで取り付きへ。ここで後から来た3人パーティーが追い付いてきて、挨拶をするでもなく登攀準備に入ろうとするので注意すると引き下がった。赤岳主稜では色々な方に会うが、このような礼儀知らずの方々は初めてであった。どうやら主稜は初めてで、山岳会に所属せず個人で登っているようであった。

1ピッチ目、雪が多くその分チムニーの距離は短い。雪はあまり硬くはないが、アックスは決まるので不安感はない。エビの尻尾等は全く付着しておらず、残置支点は使える状況であった。計8ピッチで抜けたが、上部の雪はむしろ少なかった。日射こそ無いものの風が弱く気温も低くなく、今までで一番良いコンディションであり、5度目の主稜で初めて先頭で登れた。

行者小屋 5:50 文三郎分岐 7:05 登攀開始 7:40 頂上 11:35 12:02 行者小屋 13:05 14:01 美濃戸 15:58



赤岳



主稜取り付き付近



3ピッチ目



上部岩壁帯